

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和元年度「管内生涯スポーツ担当者等研修会」	
期 日	令和元年6月13日（木）	
参加者	21名	
日 程	(1) 開会行事 13:15～13:20 (2) 説明 13:20～13:35 「本研修会の趣旨と進め方について」 福岡県教育庁福岡教育事務所社会教育室 社会教育主事 (3) 講話 13:35～14:45 「ポスト2020地域スポーツの在り方 スポーツクラブの継続と発展」 ～ スポーツコミッションとの連携 ～ NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット 理事長 桑田 健秀 氏 (4) グループ協議 15:00～16:00 「スポーツを通して地域を活性化していくために」 (5) 発表 16:00～16:20 (6) 講評 16:20～16:40 「実現化を目指して」 NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット 理事長 桑田 健秀 氏 (7) 閉会行事 16:40～16:45	
活動の 実際	【講話】 ピボットフットの桑田健秀先生に、 「ポスト2020地域スポーツの在り方 スポーツクラブの継続と発展」というテーマで、自身が立ち上げた地域総合型スポーツクラブでの20年間の取組の成果と、今後のスポーツコミッションの展望についてお話いただきました。スポーツコミッションとは、スポーツと、景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することで、まちづくりや地域活性化につなげる取組のことです。その代表的な取組には、「スポーツツーリズム」「地域スポーツ大会・イベントの開催」「スポーツ大会の誘致」「スポーツ合宿・キャンプの誘致」があります。桑田先生は、地域総合型スポーツクラブにおけるスポーツコミッションの取組の具体例を交えながら、「スポーツイベントに	 〈講話の様子〉

対するその後の在り方が今後のスポーツの推進・発展につながること」、「地域をコーディネートする人材の育成が求められていること」、「スポーツを通して地域を活性化するためには、行政・スポーツ団体・企業の3者が連携し、それぞれの役割を把握し、分担すること」など、今後大切にしていけることを具体的にご示唆いただきました。

〔グループ協議〕



〈グループ協議・発表の様子〉



「スポーツを通して地域を活性化していくために」というテーマで、グループに分かれて協議を行いました。はじめは、自身のスポーツ経験や講話を受けての感想を交流し、その後、「スポーツを通して地域を活性化していくために、市町やクラブで何ができるか」を協議しました。スポーツコミッションの分野については、これまで十分に検討できていない市町が多いという現状をもとに、「地域のどんなイベントを活用できそうか」や、「市町やクラブの枠を越えて組織できないか」など、前向きな意見が交わされていました。

全体を通して

本研修会には、管内各市町のスポーツ担当者だけでなく、福岡県体育協会、総合型地域スポーツクラブ関係者など多様な立場の方々の参加がありました。感想の中には、「スポーツコミッションの可能性について検討・議論していきたい」、「東京2020大会に向けたキャンプ地活動及び選手団との地域交流に取り組みたい」、「近隣市町村と連携していきたい」、「広域的なイベントを企画したい」、「1つの自治体では限界があるので、広い視野を持って取り組んでいきたい」、「民間と行政がタイアップしたい」、「(参加者が継続的にスポーツに関わるために) イベントのアフターケアを考えていきたい」などの記述がありました。今回の研修が、それぞれの所属での今後の実践につながるきっかけになることを願っています。